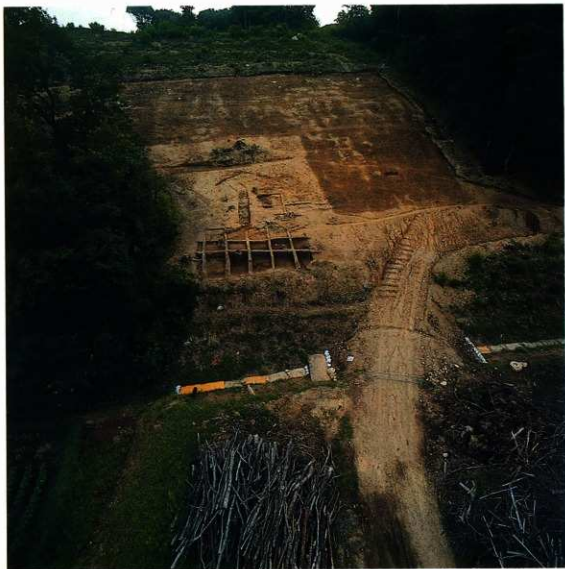


# 写 真 図 版

※図版中の遺物番号は、実測番号と対応する。



空撮(西方向から)



全景(西方向から)



焼成部-5・6区-遺物出土状態(西方向から)



焼成部-5・6区-遺物出土状態(東方向から)

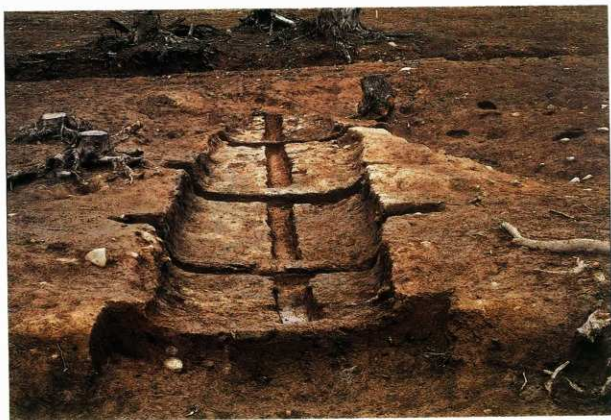


焼成部-5・6区-遺物出土状態(西方向から)



焚口付近-7・8区-遺物出土状態(西方向から)





断割状態全景



直交方向断割断面(D-D')



空窯(東方向から)



窯跡・灰痕(東方向から)



窯内遺物出土状態(東方向から)



灰原0-7遺物出土状態(西方向から)





灰原C-5遺物出土状態(東方向から)



灰原D-6遺物出土状態(東方向から)



竈跡主軸方向土層断面 - 西側 - (南方向から)



竈跡主軸方向土層断面 - 東側 - (南方向から)



竪文方向断割断面(B-B') - 北半部 -



竪文方向断割断面 - 全景 -



遺景(東方向から)



全景(東方向から)





竈内遺物出土状態(東方向から)



完掘時竈跡全景(東方向から)





焼成部-5・6区-遺物出土状態(東方向から)



焼成部~燃焼部-5~8区-遺物出土状態(東方向から)



焼成部～燃焼部-5・6区-遺物出土状態(東方向から)



焼成部～燃焼部-7・8区-遺物出土状態(東方向から)



断割状態全景(東方向から)



窯跡主軸方向断割断面(南方向から)



直交方向断割断面(D-D') - 南半部 -



直交方向断割断面(D-D') - 北半部 -





1



2



3



4



5



6



7



8





9



10



11



13



14



15



21



23



24



25



26



27



28



29



30



34



35



36



37



38



39



40



41



42



44



45



46



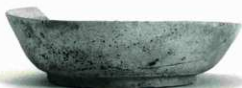
49



50



51



52



53



54



55



57



59



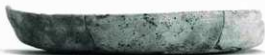
61



63



64



65





66



67



68



70



71



72



73



74



75



77



78



82



83



84



焼台1



焼台2



1



3



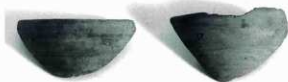
4



5



6



7・8



9



10





25



26



27



28



33



35



40



41



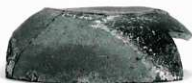
44



45



46



48



50



51



52



54





56



57



58



59



63



65



66



67



71



72



73



74



76



81



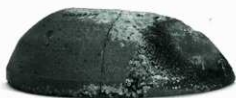
82



83



84



85



86



87



89



93



95



96



97



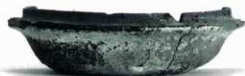
98



99



101



103



107



108



109



116



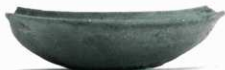
118



121



124



125



126



127



128





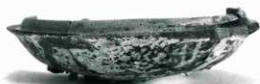
129



130



131



132



133



136



139



141



143



145



146



148



149



150



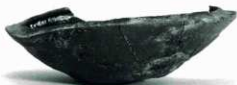
152



153



154



155



156



157



161



162



165



171



172



175



176



178



183



184



185



186



187



188



189



190



191



192



193



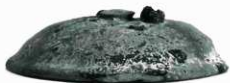
194



195



196



197



200



201



208



211



222



224



227



228



229



230



231



232



233





234



235



236



237



238



239



240



241



243



244



245



246



247



248



249



250



251



252



253



255



259



260



261



262



263



264



265



266



267



268



269



270



271



272



273



274



275



276



277



278



279



280



281



287



289



294



295



296



298



299



300



301



302



303



305



306





307



308



310



311



313



314



315



317



318



322



324



327・328



329



330



331



332



334・335



337



338



340



341



343



347



350



351



352



356



357



358



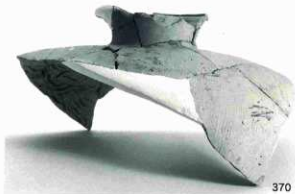
359



361



362

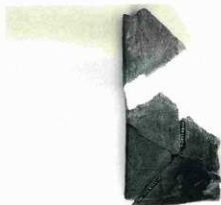




381凹



381凸



382凹



382凸



埴台1



埴台2



埴台3



埴台4



1



2



3



7



8



9



10



11





14



15



16



18



19



20



27-1



27-2



28



29



30



33



34



35



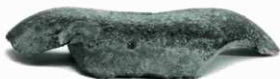
36



37



38



40



41



44



47



48



49



50



60



61



62



63



65-1



65-2



68表



68裏



69□



69△



70□



70△



71□



71△



72□



72△



74△



74□



75△



75□



猪台1



猪台2



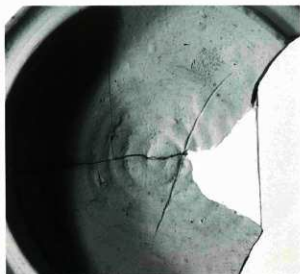
猪台3



猪台4



I類(82)



I類(131)



II類(148)



II類(203)



II類(260)



II類(306)



Ⅲ類(129)



Ⅲ類(86)



Ⅲ類(87)



Ⅲ類(276)



Ⅲ類(313)



Ⅳ類(84)





IV類(83)



IV類(145)



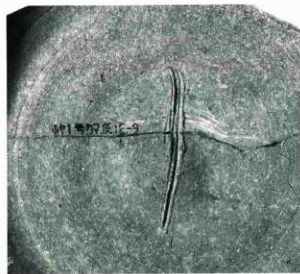
IV類(103)



IV類(197)



IV類(193)



IV類(189)



IV類(266)



IV類(261)



IV類(282)



V類(204)



V類(196)



VI類(155)



Ⅷ類(128)



Ⅷ類(205)



Ⅷ類(269)



Ⅷ類(146)



Ⅷ類(231)



Ⅷ類(296)



X類(194)



X類(88)



XI類(233)



VII類(245)



内面・帯描波状文(330)

## 報告書抄録

ふりがな	いとうだかまあとぐんはくつちょうさほうこくしょ(こんげかまあと・ほや1ごうかまあと・ほや2ごうかまあと)							
書名	伊藤田窯跡群発掘調査報告書〈コング窯跡・穂屋1号窯跡・穂屋2号窯跡〉							
副書名	国道212号(中津三光道路)道路改良工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次	*							
シリーズ名	大分県教育庁埋蔵文化財センター調査報告書							
シリーズ番号	第50集							
編集者名	友岡信彦・小林昭彦							
編集機関	大分県教育庁埋蔵文化財センター							
所在地	〒870-1113 大分市大字中判田1977							
発行年月日	平成22年(2010年)3月31日							
ふりがな 所在遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 °' "	東緯 °' "	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
こんげかまあと コング窯跡	なかつしおおあがいうだあげこんげ 中津市大字伊藤田字コング	44203	203083	33°32' 40"	131°14' 46"	2008年7月17日 ～2008年8月29日	1,660	国道212号 道路改良 工事
ほや1ごうかまあと 穂屋1号窯跡	なかつしおおあがいうだあげほや 中津市大字伊藤田字穂屋	44203	203083	33°33' 3"	131°14' 37"	2008年12月4日 ～2009年1月16日	340	
ほや2ごうかまあと 穂屋2号窯跡	なかつしおおあがいうだあげほや 中津市大字伊藤田字穂屋	44203	203083	33°32' 50"	131°14' 43"	2009年1月28日 ～2009年3月5日	384	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
コング窯跡	窯跡	8世紀前半	窯跡1基、灰原	須恵器(杯・皿など)	8世紀代の窯跡調査としては伊藤田窯跡群中では初例			
穂屋1号窯跡	窯跡	7世紀前半	窯跡1基、灰原	須恵器 (杯、高杯、平瓶など)	7世紀前半の窯跡。灰原は短期間作業を示し、出土須恵器は一括資料としてまとまりをもつ。			
穂屋2号窯跡	窯跡	7世紀後半	窯跡1基、灰原	須恵器(杯、高杯など)	7世紀後半の窯跡調査としては伊藤田窯跡群中では初例。窯内と周辺から円面硯(破片)出土			
要約	調査を実施した3基の窯跡は伊藤田窯跡群内のはぼ中央部に位置する。北へ長く延びる丘陵の西斜面にコング窯跡、東斜面に穂屋1号・2号窯跡が構築されていた。これまで伊藤田窯跡群では6世紀後半～7世紀前半までの窯跡については調査が実施されていた。今回穂屋2号窯跡、コング窯跡の調査によって新たに7世紀前半、8世紀前半の資料が追加されるとともに、伊藤田窯跡群が6世紀後半～8世紀前半の長期わたる継続的な須恵器生産地であったことが明らかになった。各窯跡の須恵器については、穂屋1号窯跡では古墳時代以来の蓋杯(杯H)と新たに2種類(杯G・B)の杯、内面に戻りをもつまみ付きの杯蓋が焼成され、穂屋2号窯跡では旧来の蓋杯(杯H)が消失、コング窯跡では杯・皿類など供膳形態が中心となり、杯蓋は内面の返りが完全に消失していた。このように出土須恵器から各時期の器種構成や型式変化の特徴をとらえられ、標準資料として位置づけることが可能である。							

---

伊藤田窯跡群  
〈コング窯跡・穂屋1号窯跡・穂屋2号窯跡〉

国道212号（中津三光道路）道路改良工事に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告書

大分県教育庁埋蔵文化財センター調査報告書 第50集

平成22年3月31日

編集・発行 大分県教育庁埋蔵文化財センター  
〒870-1113 大分市大字中判田1977番地  
TEL (097)597-5675

印刷 立川印刷株式会社  
〒870-0901 大分市西新地2丁目4番5号  
TEL (097)552-1110

---